

2025年9月19日
商工中金

中小企業設備投資動向調査（2025年7月調査）の公表について

商工中金は半年に一度、中小企業の設備投資動向の実態把握のため調査を実施しており、今般 2025 年 7 月調査の結果を公表しました。

調査要旨

1 設備投資「有」比率…24 年度実績は前年並み、 25 年度修正計画は前年を上回る高水準

2024 年度実績の設備投資実施「有」企業割合は全体の 64.4%と前年並み。

2025 年度修正計画では設備投資「有」が全体の 56.4%と前年を上回り、引き続き設備投資意欲は堅調。

2 設備投資の目的…合理化・省力化、情報化投資が増加

設備投資目的の上位 2 つは「設備の代替」「維持・補修」だが、足元では低下。

長期推移を見ると「合理化・省力化」、「情報化投資」が増加を続けている。

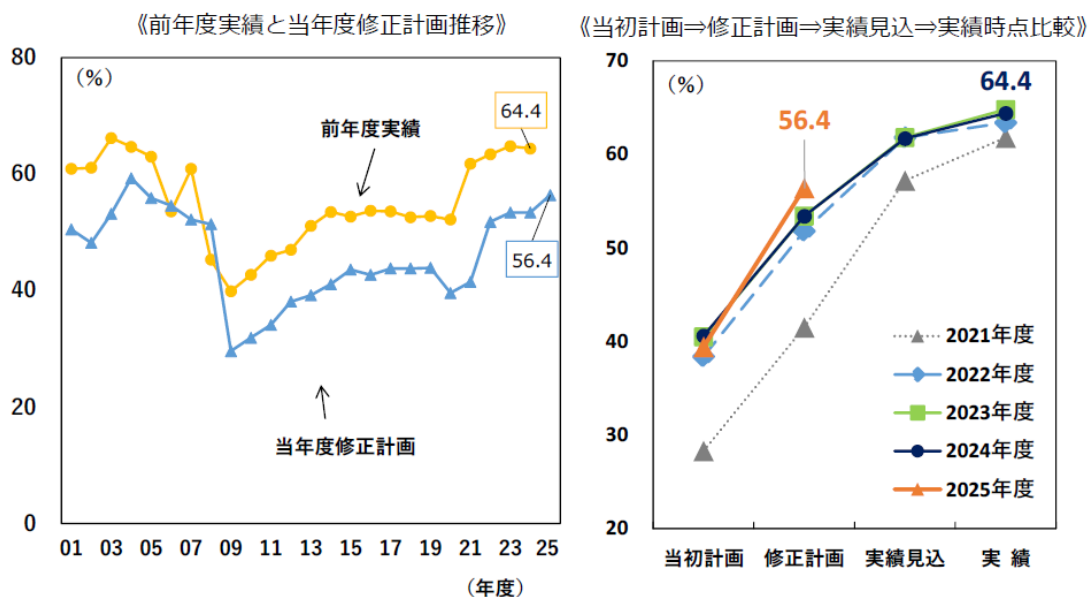
3 設備投資「無」の理由…資源高等のコスト高要因が高止まり

設備投資を見送る理由としては、「資源高による投資コスト上昇」といったコスト高関連の理由が高止まりしているほか、「金利水準が高い」、「資金調達が困難」などの割合が増加。

4 設備投資額の増減率…前年度の高い伸びには及ばないが引き続き増加

設備投資額の増減率をみると、全産業の 2024 年度実績は 2023 年度実績対比+6.4%。前年度の高い伸びには及ばないものの引き続き増加。2025 年度修正計画は 2024 年度実績対比▲11.3%で概ね例年並み。

<設備投資「有」とした企業の割合の推移>



▼詳細はこちらをご覧ください。→ [「中小企業設備投資動向調査（2025年7月）」](#)